



校長室だより

令和6年度

5月1日

NO. 7

仲間と感じ、味わい、楽しむ、ジブリパークの世界



映画の中の建物の広がる景気の中で、汗ばむほどの陽気な風に、多くの外国人や老若男女、様々な人のいる「ジブリパーク」は、どこか異国を思わせませす。「なんか、普通の日じゃないみたい」と言う子供たち。気持ちはお休みの日に家族で遊びに来た気分、うきうき感が伝わってきます。

こうした遠足の効果は、非日常体験にあるのではないかと思います。ジブリの映画を見たことがなくても、映画に出てくるセットに触れたり、映画上の人物（模型）や絵コンテなどを見たりすることで、子供は感じ、考えます。「昭和っぽいね」「こんなに大きい」「おいしそう」「こんなにいろんな国で見られるんだ」「違う世界みたい」……。自ら主体的に感じて動くことは、楽しいことです。自然とこうした体験活動ができることは、学校ではなかなか味わえない楽しさです。

また、小規模校で、縦割りで活動することにも、大きな意味があります。上級生が疲れた下級生の背中を押してあげたり、下級生が上級生の話を聞いたり、一緒に遊んだりできることも、とても貴重な体験です。「秦梨は家族みたい」と言われますが、普通の教室以外のつながりができ、学校に居場所ができることは、子供にとって、とても大事なことです。

二十四日に行われた「一年生を迎える会」でも、同じことを感じました。一年生と同じ数の六年生が、ことあるごとに優しく声をかける場面が見られます。いつも自分のことを見てくれる兄弟姉妹のような上級生と共に、そして全校みんなで遊べる仲間の中で安心感を味わうことは、大事な経験です。

ジブリ映画の中で主人公は、「大きな望み」をもって、「たゆまぬ努力」で、そして仲間を支えられたり、協力し合ったりしながら、大きな困難も解決していきます。「チームジブリ」のように「チーム秦梨」でありたいと思います。

◇令和6年度 秦梨学区大運動会 ◇

日にち：5月25日 8時45分～（予備日：26日、代休：27日）

☆GWが終わると、練習が始まります。暑い日も予想されます。体調管理をお願いします。